



問合せ 伊豆日日新聞
電話 0558 76 4760

おおらかな伊豆の国が、好き

おがわ かつゆき
小川 勝之さん

伊豆日日新聞 記者

MY WAY

伊東市出身の小川さんは、大学卒業後、神奈川県でパン販売店に就職。しかし、「いずれは仲間もいる地元に戻りたい」という思いが強く、二十六歳のとき伊豆新聞本社に入社。故郷に戻ってきました。

最初の年に伊東本社で記者のイロハを学んだ後、熱海や伊東の担当記者を経て、二年前、伊豆の国の担当になりました。

熱海や伊東(東伊豆)と伊豆の国(中伊豆)は、同じ伊豆でもまったく地域性が違う、と小川さん。「東伊豆は、大多数が観光業に携わっている、みんな強烈に自分をPRします。一方、農業など他の産業も多い伊豆の国の人、基本的に控

えめ。おおらかで優しく、それが私の好きなどころでもあるんですけど、もっと自分をPRすればいいのに!と歯がゆくなることもあります(笑)。

『伊豆日日新聞』には、大手の新聞にはない強みがあるそうです。「どんな小さな話題も、営利目的でなければ、ほぼ記事にします。『キュウリから芽が出た』『動物の形のナスが採れた』など、楽しんで取材しています。また、『市をよくしよう』『地域を活性化しよう』といった新しい取り組みも、どんどん教えてください。」

今日もまたカメラを片手に、小川さんは地域の話題をスクープします。

入学(せいせつ)の季節です。初めて自分だけで歩いて登校する新一年生たち。今までの幼稚園・保育園では家族が送り迎えしていたけど、これからは、先ばい小学生たちの出番です。

登校のときは、安全リーダーを中心にびしっと歩く姿が見られますが、下校のときは遊びながら帰る子どもたちも多く見かけます。

よく見かける危ない例を二つ紹介しましょう。

一つ目は、歩道の端や縁石の上を、平均台にのるまねをして

新1年生の 見本になろう!

先ばい小学生へ



歩く子どもたち。二つ目は、青信号になるのをスタートの合図代わりにして、横断歩道で競走している子どもたちです。

いつか、車にひかれてしまつかもしれません。先ばい小学生の誰かがこのような遊びをしたら、新一年生たちもまねをします。反対に、先ばいが車にしっかりと注意して安全に歩けば、新一年生たちも見習います。

ですから、先ばい小学生はいつでも、新一年生の見本になるような行動をとってください。

交通安全は家庭から

「カチッ」とな 後ろのみんなもしめてます
水田 瑤美(大仁東小)
危ないぞ ゆだんたいてき 細い道
高橋 かの(葦山小)
みんなで まもろう 交通ルール
蔵満 達生(長岡北小)



交通安全標語コンクール優秀作品

問合せ 安全対策課
電話 055 948 1412

期間中は、飲酒運転の根絶、自転車の安全利用の推進、すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底等に重点を置いた運動が展開されます。

交通ルールと交通マナーを守り、交通事故に遭わないよう十分注意しましょう。

安全は 自ら うちから 地域から 春の全国交通安全運動

4月6日(月)~15日(水)までの10日間

いつもありがとう~人物紹介~

毎朝、大仁北小学校の近くの交差点に立って、子どもたちを見守ってくれる伊郷さん。注意していることは、「歩行者信号の点滅時にあわてて走ってくる子どもへの判断」...だそうです。



伊郷吉明さん
(御門在住・75歳)

いつもありがとう、伊郷さん。

いつまでもお元気で、がんばってください。



お詫び

広報いずのくにに三月号の「必読!免許取りたてのあなたへ...」取り消しと「免許」の本文に誤りがありました。

一回の違反で、免許(免許停止)になってしまつて要件の、速度超過(スピード違反)は、誤...一般道で速度超過時速四十km以上、高速道路等で三十km以上...ではなく、正...一般道で速度超過時速三十km以上、高速道路等で四十km以上...です。訂正し、お詫びいたします。

子どもは見えます
大人の行動
(市内在住・匿名/男性)

横断歩道があつても渡らない人や、車が来ているのに手を挙げずに渡る人、信号が赤でも、車が来てないと思つてしまつて人、幼児を抱えて運転して人、暗くなつてもライトをつけずに走る車や自転車、ウィンカーを出さずに交差点を曲がる車、一旦停止をしない車、グリーンベルトに歩行者がいるのに入つてくる車、横に並んで走る自転車、以上のような行動を見かけるとき、私はその人を注意します。すると中には、自分を正当化して文句を言う人がいます。

交通死亡事故などが起こつたとき、あなたが被害者でも加害者でも、大変なのは残された家族です。

あなたにはお子さんはいますか?子どもは、大人の行動を見ています。

大人の皆さんがそれを自覚し、子どもたちの見本になるような行動をとりますように。

GO! GO! 消防団

最終回 第12分団



7つの地区の若者が1つに団結し、住民を守る第12分団

伊豆の国市消防団第十二分団は、旧・大仁方面隊第五分団と同第八分団が統合して誕生しました。管轄区域は御門、白山堂、守木、宗光寺、立花、星和、田中山で、管轄の約八割が山間地で、残り二割の住宅・商店街(平野部)は、宗光寺川・谷戸川下流や狩野川沿いにあり、台風シーズンには水防での出動も多い区域です。

本部分隊以外でも毎月一日の防火水槽の点検、十五日の機械器具の点検や、中継訓練などを自主的に行っています。また地区の要請により、広瀬神社例大祭に、浅間神社祭典、田中山スイカ祭り、どんど焼きなどにも警備等で参加しています。

(矢田分団長より)「七つの地区の若者たちが一つにまとまり、住民の財産・安全を守る」とする姿には、感心させられます。地区や年齢を越えた仲間との訓練や交流会等により、人間的に成長できる分団です。今後も地域とのコミュニケーションを大切にしつつ、楽しい分団を目指します。一緒に活動してくれる人はぜひご連絡してください。待っています。」

第12分団 DATA

管轄区域 御門、白山堂、守木、宗光寺、立花、星和、田中山(1,573世帯/4,223人)

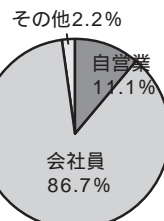
分団長 矢田一織(宗光寺)*

副分団長 渡辺一仁(田中山)*

団員数 45人(うち支援団員10人)

団員の平均年齢 26.4歳**

団員の職業



**平成二十年度の正・副分団長名
*正・副分団長、支援団員を除いた現役団員の年齢